

謹賀新年



吉岡町長

石関

昭



新年あけましておめでとう
ございます。

輝かしい新春をご家族皆さま
まお揃いでお迎えのこととお
慶び申し上げます。

昨年中は行政全般にわたり
ご支援とご協力をいただき誠
にありがとうございます。

心より感謝申し上げます。
東日本大震災をはじめ、台
風や豪雨によって全国各地で
は甚大な被害を受け、自然災
害の恐ろしさを再確認させら
れた年でした。

犠牲になられた皆さまにお
見舞い申し上げますとともに、

一日も早い復旧復興を心より
お祈り申し上げます。

こうした経験から災害に強
い町づくりの推進に努めなけ
ればならないと強く実感し、
一層安全で安心なまちづくり
を目指したいと心新たにしてい
ます。

さて、昨年は町制施行二十
周年を迎え、「将来に責任を
持てる町政」に向けて節目の
年でもありました。

吉岡町は道路網の整備を背
景に、着実な人口増加を上げ
ています。上毛大橋の開通や
駒寄スマートインターチェン

ジ開設、前橋渋川バイパス開
通、さらには平成二十四年度
暫定供用開始を目標に、高崎

渋川線バイパスの工事が着々
と進んでいます。駒寄スマー
トインターチェンジを大型車
対応可能なインターにしよう
と周辺市町村と連携して取り
組み、町のさらなる発展のた
め、アクセス道路も整備して
います。

一方で、リバートピア吉岡
は道の駅よしおか温泉と併せ
て多くの集客効果をもたらし
ています。物産館かざぐるま
では、友好都市協定を結んだ

北海道大樹町の特産物を販売
し、東の玄関口としてにぎわ
いをみせています。

「人と自然が輝く町」とな
るために必要な政策に取り組
んでいこうと、4つのシンボ
ルプロジェクト「よしおか再
発見」「よしおか健康No.1」
「安全・安心よしおか」「環境
交通推進」を柱に構想が盛り
込まれた「第5次吉岡町総合
計画」がスタートしました。
実現に向けて各事業を町民皆
さまの意見に耳を傾けなが
ら、また議会とも相談をして
一歩ずつ着実に実施してい
たいと考えています。

どうか、皆さまからのご意
見や、アイデアなどをいただ

き、目まぐるしく変化する社
会情勢の中ですが、「キラリ
輝くよしおか」を目指してい
きたいと思っております。

結びに、本年も変わらぬご
支援をお願い申し上げます。
町民皆様にとつて健康で素晴
しい年であることをご祈念申
し上げ、新年のあいさつとし
ます。

平成二十四年 元旦

年頭あいさつ



吉岡町議会議長

近藤 保

新年明けましておめでとう

ございます。町民の皆様には
希望に満ちた新年をお迎えの
こととお慶び申し上げます。

昨年3月11日に発生した東
日本大震災において、犠牲に
なられました方々のご冥福を
お祈り申し上げますととも
に、甚大な被害を受けました
被災地の皆様に心からお見舞
いを申し上げます、一日も早い生
活再建がなされますよう、心
からお祈りいたします。また、
災害に際しまして、多くの町
民の皆様にご多大なるご支援を
賜りましたこと、心から感謝

申し上げます。

さて、昨今の社会経済情勢
は、個人消費の低迷や急激な
円高などの影響で依然として
厳しい状況にあります。

しかしながら、本町は経済
情勢の変動に対応し、町民皆
様のお力添えをいただき、順
調な成長発展をみて、今日を
迎えています。

町東部には、国道十七号線
のバイパス道路として新坂東
橋が利根川に架かり、上毛大
橋と並んで吉岡町の東の玄関
として、町の発展に大きな役
割を果たすことができると期

待するものです。

また、昨年に北海道大樹
町との友好都市の締結がされ
ました。両町あげて商業、農
業、教育文化などさまざまな
分野で交流が始まり、両町の
発展が期待されます。

議会は議員による討論の場
です。自由闊達な議論を通じ、
町政における課題、論点、争
点を町民に明確にする義務を
負っています。

厳しい財政状況ではありま
すが、財政健全化に向けて従
来の慣習にとらわれることな
く、より一層の創意工夫と努

力を積み重ねなければなりま
せん。

同時に町民皆様の付託を受
け、行政の一翼を担う議決機
関として、皆様の要望を把握
し、町政に反映できるよう努
める所存です。

本年も、議員一丸となり議
会が機能を発揮し、明るく住
み良い、安心安全な吉岡町づ
くりの実現に向けて邁進して
まいります。

結びにあたり、町民の皆様
の一言のご指導とご鞭撻をお
願い申し上げます。町民皆様
のご多幸とご健勝を心からお
祈りし、年頭のあいさつとし
ます。

平成二十四年 元旦



今年の干支は「辰(たつ)」